

令和4年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	08	124330	国際都市推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進	
	施策	03	国際都市の推進			
目的	花巻市の国際化推進のため、国際都市推進員を活用した情報発信、国際交流活動や情報発信の拠点となる国際交流センターの運営、公益財団法人花巻国際交流協会が実施する各種事業の支援を行う。					
対象	市民					
意図	市民の国際理解及び多文化共生に関する理解の促進により、花巻市の国際化推進に寄与する					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際都市推進員の活用等 3,555千円</li> <li>○国際交流センター運営業務委託 11,805千円</li> <li>○公益財団法人花巻国際交流協会補助 2,491千円</li> <li>公益財団法人花巻国際交流協会が行う国際理解推進事業等への補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解推進事業（多文化サロン、市民語学講座）</li> <li>・定住外国人支援事業（コミュニケーション支援、生活支援）</li> <li>・国際交流情報提供事業、国際交流団体活動支援事業・国際フェアinはなまき代替事業等</li> </ul> </li> <li>○団体への負担金 10千円</li> <li>・岩手県日唄協会会費</li> <li>・JICAボランティアを支援するいわての会</li> <li>○（仮称）花巻市多文化共生推進プラン策定に向けた検討 198千円</li> </ul>					
市民参画の有無	（仮称）花巻市多文化共生推進プラン策定委員会、パブリックコメント					
市民協働の形態	<input type="radio"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="radio"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	情報発信回数	回	計画	50.00	50.00	
			実績	26.00	52.00	
2	小・中学校等での国際理解教室等	回	計画	10.00	5.00	
			実績	4.00	7.00	
3	公共施設等の多言語表示・翻訳等	回	計画	20.00	20.00	
			実績	30.00	19.00	
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	交流会・講座等参加者数	人	目標	1,400.00	700.00	
			実績	1,659.00	2,057.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いてきたことにより、昨年度と比較して各種イベントに関する情報発信が増えたほか、公益財団法人花巻国際交流協会が開催する出前講座や、協会職員が講師として参加する未来図書館による小中学校への訪問が増えたことにより目標値を達成することができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・国内外への情報発信や公益財団法人花巻国際交流協会が行う国際理解推進事業等への補助、国際交流団体への支援は、国際都市化を推進する上で妥当な事業である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・情報発信や国際交流協会による各種講座等の実施により、市民の国際理解や多文化共生に関する理解の促進が期待できることから、成果の向上余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・国際都市推進員は、市の会計年度職員（パートタイム）であり削減の余地がない。又、国際交流センター運営業務委託の主な内容は人件費で、市の会計年度職員に合わせた金額となっており削減の余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・情報発信や各種講座等は市ホームページや広報紙で広く市民に周知しており、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いてきたことにより市内の観光イベントが再開され、昨年度よりも多く情報発信することができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により多くの人が集まる国際フェアは実施できなかったが、少人数で行う語学講座等は予定通り行うことができた。また、未来図書館への参加や出前講座の実施により市民の国際理解を推進することができた。</li> </ul>
	次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度から国際都市推進員の人件費等を花巻国際交流センター運営業務委託費に移したが、引き続き国際都市推進員を活用した情報発信等により国際都市化を推進する。</li> <li>・引き続き花巻国際交流センターの運営及び公益財団法人花巻国際交流協会事業の補助を行い、市民の国際理解を推進する。</li> </ul>

令和4年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	08	124340	国際姉妹都市等交流推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進	
	施策	03	国際都市の推進			
目的	姉妹都市等との交流を推進し異文化理解を深め国際感覚を醸成するため、国際姉妹都市等との青少年や市民の派遣及び受入による交流事業を行う。					
対象	市民、国際姉妹都市等の中高生・市民・教員					
意図	国際姉妹都市等との派遣及び受入事業の実施により、姉妹都市等との交流を推進し、市民の異文化理解を深め国際感覚を醸成する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公益財団法人花巻国際交流協会補助 425千円</li> <li>公益財団法人花巻国際交流協会が行う交流事業への補助</li> <li>・青少年海外派遣研修事業（市内中学2年生を、ホットスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村へ6名ずつ派遣。）</li> <li>・海外青少年受入交流事業（ホットスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村からの青少年をホームステイで受け入れ。）</li> <li>・市民等交流事業（国際姉妹友好都市からの市民等を受け入れ。）・海外来訪者受入事業</li> <li>○姉妹都市等交流受入のバス借上料 0円</li> <li>○大迫高校生ベルンドルフ市派遣 0円</li> <li>○ラットランド市35周年記念事業 237千円</li> </ul>					
市民参画の有無	対象外					
市民協働の形態	<input type="radio"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="radio"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	交流都市	箇所	計画	6.00	4.00	
			実績	4.00	4.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	派遣人員	人	目標	50.00	32.00	
			実績		0.00	
2	受入人数	人	目標	50.00	50.00	
			実績		2.00	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度			目標値より高い		概ね目標値どおり	<input type="radio"/> 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症の影響により、青少年海外派遣研修事業や海外青少年受け入れ事業が中止となったため目標を達成できなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市が共催して公益財団法人花巻国際交流協会が行う姉妹都市等との交流事業を実施することにより、姉妹都市等との安定した友好関係を維持することができるため妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・姉妹都市等との派遣及び受入れ事業を継続的に実施することにより国際交流人口の拡大が期待できるため、成果の向上余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・派遣事業における渡航経費及び人件費（添乗員経費）は実績のある複数業者からの見積り合わせによりコスト削減を図っており、安全な派遣事業実施のためにこれ以上の削減余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・派遣生徒は市内中学2年生を対象に公募し、選考委員会により公正に派遣生徒を選考しており、受益機会は適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価	今年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により姉妹都市等との受入・派遣による交流事業を実施できなかったが、代替事業として「オンライン姉妹都市交流事業（姉妹都市に友達をつくろう！）」を実施し、市内中学生10名がホットスプリングス市とラットランド市の生徒とオンラインにより交流を深めることができた。</li> <li>・昨年度から延期となっていたラットランド35周年の市民訪問団受入と訪問については新型コロナウイルス感染症により実施することができなかったが、両市から記念品を贈りあい、交流を深めることができた。</li> </ul>
	次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきていることから、直接的な交流事業の実施再開を予定している。久しぶりの実施となるため、円滑に実施できるよう関係者との連絡調整を密に行い、交流を推進する。</li> <li>・ホットスプリングス市との姉妹都市提携30周年の記念事業について、実行委員会を立ち上げ、関係者と相談しながら準備を進める。</li> </ul>

令和4年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	17	124650	国内友好都市交流推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進	
	施策	03	国際都市の推進			
目的	友好都市（神奈川県平塚市・青森県十和田市）との都市交流を推進する。					
対象	花巻市民・友好都市市民					
意図	友好都市間の交流を促進する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友好都市との交流</li> <li>・友好都市への記念品等報償費 13千円</li> <li>・友好都市随員職員旅費 0円</li> <li>・花巻市友好都市交流委員会補助 185千円、花巻市友好都市交流委員会が実施する事業に対し補助金を交付する。</li> <li>自然体験交流事業、市民ツアー、友好都市との交流に係る団体への助成など</li> </ul>					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	○ 共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	○ 補助・助成	
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	友好都市交流事業実施回数	回	計画	20.00	20.00	
			実績	2.00	9.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	友好都市交流事業参加数	人	目標	450.00	200.00	
			実績	131.00	118.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、自然体験交流事業等の人が多く集まる事業が中止となったことから、交流事業参加者数は目標値より低い結果となった。	
目的妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共関与の妥当性</li> <li>○ 妥当である</li> <li>見直し余地がある</li> <li>妥当でない</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果の向上余地</li> <li>○ 向上余地がある</li> <li>向上余地がない</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費・人件費の削減余地</li> <li>事業費の削減余地がある</li> <li>人件費の削減余地がある</li> <li>○ どちらも削減余地がない</li> </ul>
公平性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益と負担の適正化余地</li> <li>受益機会の見直し余地がある</li> <li>費用負担の見直し余地がある</li> <li>○ 適正である</li> </ul>
総合評価	<p>今年度の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の交流事業は中止となったが、十和田市との相互市民ツアーを実施したほか、3年ぶりに開催された元祖わんこそば全日本大会に、平塚市から湘南ひらつか織り姫3名及び食士3名を受入するなど、直接の交流を再開することができた。</li> <li>・情報誌を定期的に発行し、友好都市についての情報を広く発信することができた。</li> </ul>
	<p>次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきていることから、直接的な交流事業の実施再開を予定している。久しぶりの実施となるため、円滑に実施できるよう関係者との連絡調整を密に行い、交流を推進する。</li> </ul>